

(令和4年11月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	11月の総入荷量は、夏季の天候不順により夏秋産地の切り上がりが早く、前年同月比で7%下回った。総取扱金額は、根菜類をはじめとして野菜全般に品薄高が続いていることから、前年同月比で4%上回った。今後は、生育が順調な品目が多く秋の台風被害も小さいことから、後続産地の入荷により軟調な動きが見込まれる。 12月は、年末商材であるくわいや頭いも、雑煮大根、葉付みかん、串柿等が入荷する。また、堀川ごぼう等の根菜類や海老いも等の土物類及び干柿類の入荷が最盛期を迎える。早生みかんは徐々に普通みかんに切り替わり、いちご類がクリスマスや年末の需要に向けて増加する。
野 菜	野菜全般の入荷量は前年同月比で7%下回り、単価は11%上回った。 根菜類の入荷量は前年同月比で15%下回り、単価は25%上回った。 葉菜類の入荷量は前年同月比で12%下回り、単価は24%上回った。 果菜類の入荷量は前年同月比で3%上回ったが、単価は需要が高かったため10%上回った。 土物類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は23%下回った。
果 実	果実全般の入荷量は前年同月比で7%下回ったが、単価は前年同月並みであった。 かんきつ類の入荷量は前年同月比で8%下回ったが、単価は需要が低かったため3%下回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で5%下回ったが、単価は上位等級が輸出に回り下位等級が多かったことから10%下回った。 柿類の入荷量は前年同月比で4%上回り、単価は16%下回った。 メロン類の入荷量は前年同月比で5%上回ったが、単価は前年同月並みであった。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん	千葉、長崎、青森、石川、岩手などから入荷した。入荷量は前年同月比で１５％下回り、単価は４３％上回った。
かぶ	京都を中心に滋賀、北海道、千葉からも入荷した。入荷量は前年同月比で２１％下回り、単価は５０％上回った。
西洋にんじん	北海道を中心に長崎、千葉、熊本、青森などからも入荷した。入荷量は前年同月比で９％下回り、単価は７％上回った。
【葉菜類】 はくさい	茨城、長野を中心に滋賀、岡山、鹿児島などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１３％下回り、単価は３７％上回った。
キャベツ	愛知を中心に茨城、滋賀、千葉、長野などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１７％下回り、単価は２５％上回った。
ほうれんそう	京都、福岡、岐阜、茨城、滋賀などから入荷した。入荷量は前年同月比で１０％上回り、単価は３％下回った。
レタス	兵庫、長崎、徳島を中心に岡山、茨城などからも入荷した。入荷量は前年同月比で２０％下回ったが、単価は５０％上回った。
【果菜類】 きゅうり	宮崎を中心に滋賀、佐賀、高知、福岡などからも入荷した。入荷量は前年同月比で５％下回り、単価は１３％上回った。

なす	高知を中心に岡山、京都、徳島から入荷した。入荷量は前年同月比で３％上回り、単価は８％下回った。
とまと	熊本を中心に福岡、滋賀、岐阜、京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１８％上回ったが、単価は前年同月並みであった。
ピーマン	宮崎、高知、茨城、大分、鹿児島などから入荷した。入荷量は前年同月比で６％下回り、単価は２４％上回った。
【土物類】	
ばれいしょ (メイクイン含む)	北海道を中心に長崎からも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は高値で推移した前年同月と比べて４１％下回った。
たまねぎ	北海道を中心に兵庫、中国、佐賀からも入荷した。入荷量は前年同月比で６％上回り、単価は３６％下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
早生みかん	和歌山を中心に福岡、大分、香川から入荷した。入荷量は前年同月比で１０％下回ったが、単価は前年同月並みであった。
富士 (サン富士含む)	長野、青森を中心に岩手、秋田、山形からも入荷した。入荷量は前年同月比で７％下回ったが、上位等級が輸出に回り下位等級が多かったことから単価は１４％下回った。
富有柿	奈良、福岡を中心に京都、鳥取、和歌山から入荷した。入荷量は前年同月比で６％下回ったが、出回りが遅く販売ピークを捉えきれなかったことから単価は２０％下回った。
アールスメロン	静岡、熊本、長崎を中心に高知、オーストラリアなどからも入荷した。入荷量は前年同月比で２７％下回り、単価は２０％上回った。